

CITY OF YOKOHAMA

感染症の流行について

インフルエンザ、感染性胃腸炎

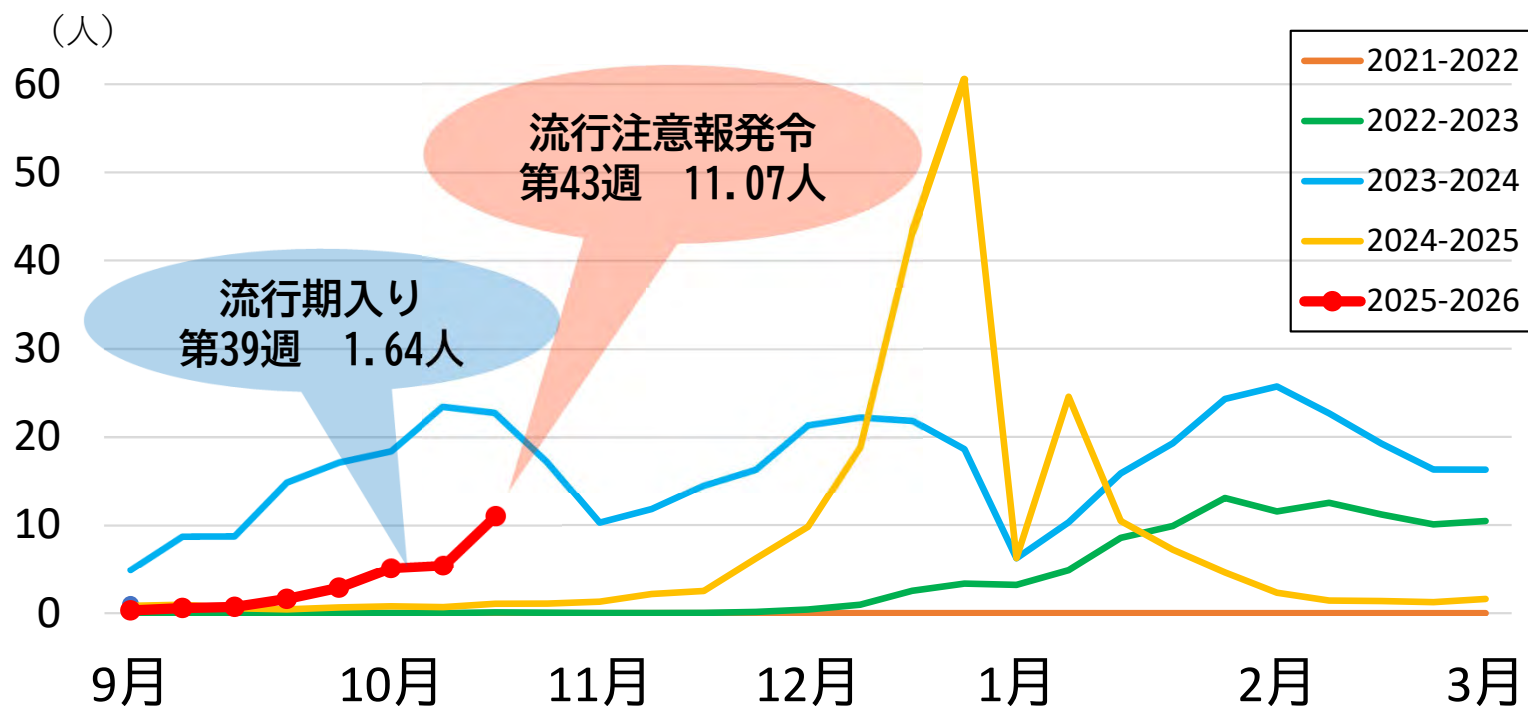
2025年11月5日
市長定例記者会見



横浜市

1 インフルエンザ流行注意報発令中

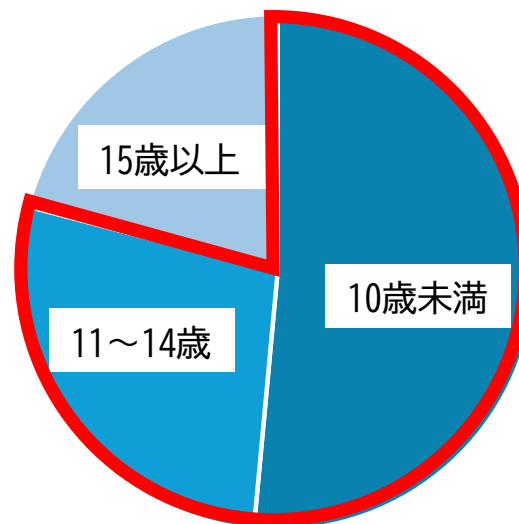
令和7年第43週（10月20日～26日）1 定点医療機関当たりの報告数 11.07人
⇒例年よりも流行が早い傾向



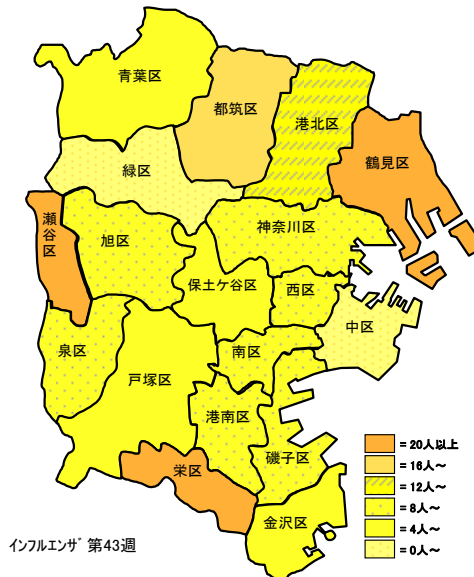
インフルエンザ 市内の流行状況

- ・ 10歳未満の報告 全体の51.5%
- 15歳未満の報告 全体の79.1%

⇒子どもの流行が中心



- ・ 注意報発令の目安（10.0）を超えている区は7区
（鶴見、神奈川、磯子、港北、都筑、栄、瀬谷）

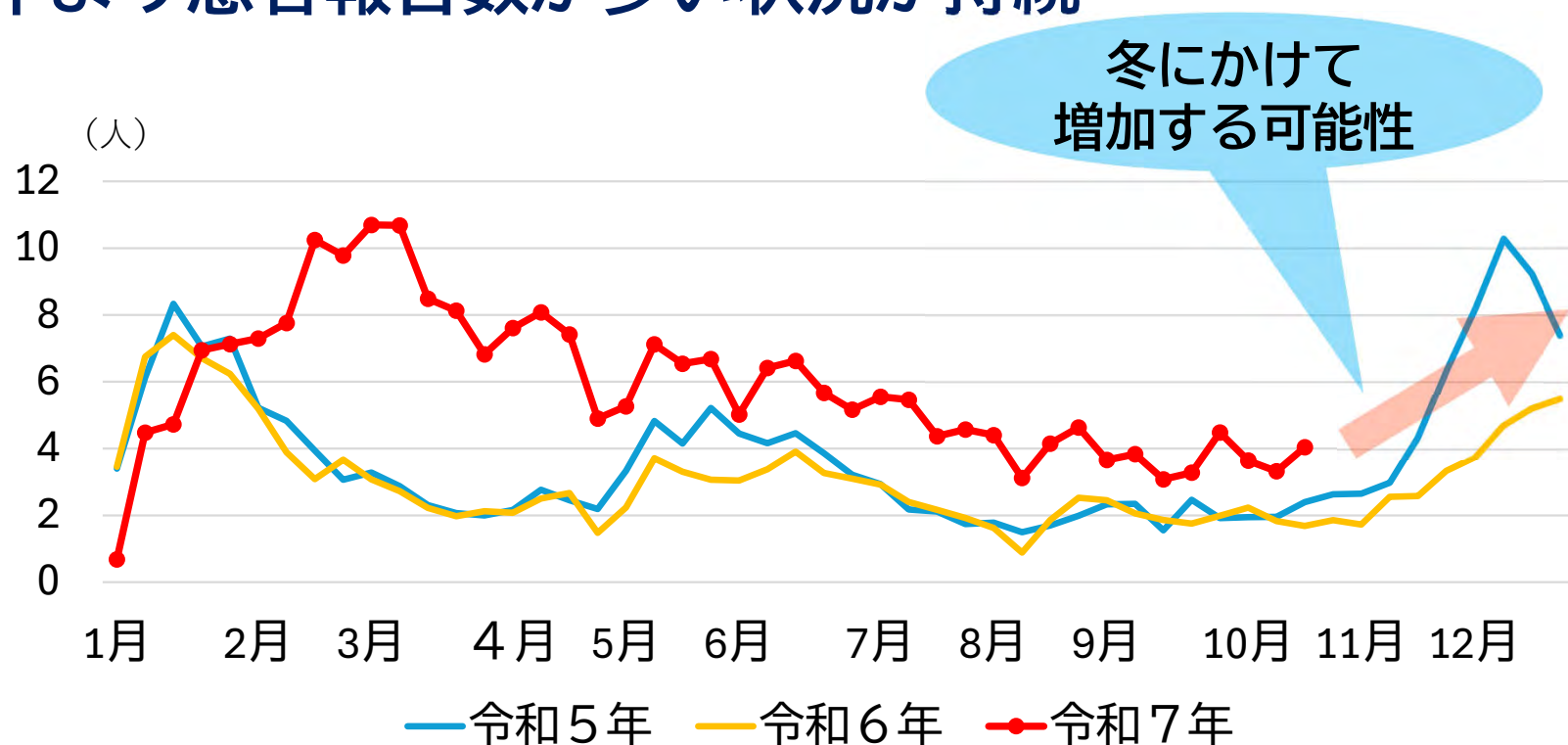


インフルエンザ 第43週

2 感染性胃腸炎（ノロウイルスなど）

令和7年第43週（10月20日～26日）1 定点医療機関当たり 4.04人

⇒例年より患者報告数が多い状況が持続



感染予防のポイント

インフルエンザ

手洗い



流水と石けんで
こまめな手洗い

+

咳エチケット



マスクの着用など

換気



窓を2か所開放

感染性胃腸炎

消毒



塩素系消毒薬
を使用

(アルコールは
効きにくい)

食品の加熱



中心温度
85～90℃
90秒以上加熱

早めのインフルエンザ予防接種がおすすめ

- ・重症化を防ぐ有効な手段のひとつ
- ・ワクチンの免疫効果は約5か月といわれており、
接種後、免疫がつくまでに2週間程度



高齢者インフルエンザ予防接種

- ・対象：65歳以上の高齢者等
- ・予約：各医療機関へ直接
(市からの接種券送付なし)

インフルエンザワクチン

12月31日まで/2,300円